

年度 2007 学期 前・後期	曜日・校時 前水 2/後水 2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	スポーツ演習(バレーボール&バドミントン) Seminar of Sports and Exercise		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室 教育体育館	
対象学生(クラス等) 1年の各指定クラス	科目分類 健康・スポーツ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 柿山哲治 / Eメールアドレス: kakiyama@kwassui.ac.jp / 研究室: 活水女子大学 /オフィスアワー: 水曜日 13時30分~14時30分			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法: 個人スキル、ペアスキル、チームスキルと反復練習により、段階を追って指導する。 授業到達目標: ストレッチ体操、種目毎の基本スキルを身に付ける。スポーツを通してコミュニケーションスキルを向上させる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 自分の体力を知り、ソフトバレーボールおよびバドミントンを通して、スポーツの歴史に触れ、スポーツの楽しみ方、親しみ方を身につけ、年齢に応じた体力の保持と健康増進を図る。また、種目別に基本的なスキルテストを設定し、技術の達成度を評価する。さらに、授業毎に体調、目標、コミュニケーションリスト、感想、身体活動充足度といった受講記録により、意識の変化や行動変容を見極める。 第1回 体力テスト 第2回 体力テスト評価 第3回 ソフトバレーボール(ボールに親しむ) 第4回 ソフトバレーボール(基本パスの習得) 第5回 ソフトバレーボール(三段攻撃の習得) 第6回 ソフトバレーボール(ルールの習得) 第7回 ソフトバレーボール(ゲーム) 第8回 バドミントン(ラケット・シャトルに親しむ) 第9回 バドミントン(基本打法の習得) 第10回 バドミントン(フットワークの習得) 第11回 バドミントン(ハーフコートシングルス) 第12回 バドミントン(ハーフコートシングルス) 第13回 バドミントン(ダブルス) 第14回 バドミントン(ダブルス) 第15回 バドミントン(実技試験)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況(欠席、遅刻、早退は減点の対象となる) 30% 課題テスト(バドミントン、ソフトバレーボールそれぞれ課題を与え、その達成度およびルールの理解度を評価する) 30% 受講態度(受講者カードの記録不備、私語、服装忘れ、無気力・無謀な行動は減点の対象となる) 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			